

経済振興委員会報告資料

観光・MICE推進プログラムの
改定に係る検討状況について

令和7年9月
経済観光文化局

1 観光・MICE推進プログラム改定の趣旨等

観光・MICEの取組みについては、福岡市観光振興条例（平成30年9月制定）を踏まえて策定した「観光・MICE推進プログラム」に基づき、具体的な施策を推進している。

現行の観光・MICE推進プログラムの計画期間が令和5年度から令和7年度までとなっているため、令和8年度から令和10年度までを計画期間とする観光・MICE推進プログラムの改定に向けた検討を行っており、その検討状況を報告するもの。

2 現行の観光・MICE推進プログラムにおける取組み状況と課題 ※詳細は参考資料1を参照

(1) 九州のゲートウェイ都市機能強化

高付加価値旅行者などの新たな顧客層の誘致や、西日本・九州の自治体等と連携した西のゴールデンルートの取組みなどによる来訪促進や広域周遊観光の推進などに取り組んだ。

課題として、令和6年時点で欧米豪の延べ宿泊者数は36.6万人と増加傾向ではあるが、その割合は5.3%に留まっているほか、高付加価値旅行者が求める特別感のあるサービスが不足していることなどが挙げられる。

(2) MICE都市としてのプレゼンス向上

外国人参加者数の多い国際会議など質の高いMICEの誘致に向け、住吉神社能楽殿など新たなユニークベニュー（歴史的建造物など特別感や地域特性を演出できる会場）を開拓した。また、宿泊事業者の約6割がMICE開催によって平日の宿泊客の増加につながっていると回答するなど、平日への旅行需要の分散化に寄与した。

課題として、国際会議への外国人参加者数は戻ってきているものの、まだ少ない状況にある。また、福岡市ならではの魅力あるユニークベニューが不足しているほか、MICEに市民が関わる機会が少ないことなどが挙げられる。

(3) 地域や市民生活と調和した持続可能な観光振興の推進

自然や歴史、伝統文化などの地域資源を活かした受入環境の充実のほか、イベントの開催などによる地域の魅力向上や回遊促進に取り組んだ。また、宿泊事業者の人材確保や生産性の向上、インバウンド向けマナー啓発などを実施した。

課題として、市民や事業者から、昼間に観光する場所がない、広報不足などの声が寄せられている。また、観光関連産業従事者の年収水準が低い状況にあることなどが挙げられる。

(4) 新たな課題等

インバウンドをはじめ観光客の急激な増加により、市民が観光客を受入れることへの意向が年々低下している。また、ホテルの客室稼働率が高い状態が続いており、人材不足を含む供給力不足のほか、観光関連産業従事者が引き続き働きたいとの気持ちが低い状態にあるなど、新たな課題等が生じている。

【現行の観光・MICE推進プログラムの達成状況】

指 標	K P I	目標値	最新値
①観光・MICE需要の 早期回復にかかる目標	入込観光客数	2,300万人	2,309万人 (令和5年)
	観光消費額	6,000億円	6,192億円 (令和5年)
	宿泊施設の 客室稼働率	70%	80.4% (令和6年)
②持続可能な観光・MICE の推進にかかる目標	福岡に来訪した 観光客の満足度	90%	88.4% (令和6年)
	市民が観光客を 受入れることへの意向	80%	51.3% (令和7年)

3 今後の取組みの視点（案）

観光・MICE推進プログラムの改定にあたっては、福岡市の観光・MICEの持続可能な発展を目指す、質の高い観光と市民満足度の向上の両立を図るため、以下の方向性で取組みを進めていく。

(1) 観光客の来訪に対する市民の満足度向上

観光客だけでなく、市民にとっても利便性が向上する取組みの更なる推進や、観光による経済効果などの情報発信による理解促進を図る。

また、インバウンドに対するマナー啓発や混雑緩和に取り組み、市民が観光客を受入れることへの意向の向上を図る。



<理解促進リーフレット>

(2) 観光関連産業の賃金上昇に向けた稼ぐ力の向上支援

観光関連産業の人材確保や従業員のキャリア形成に向けた支援のほか、賃金上昇に向けた経営者層に対する意識啓発、生産性の更なる向上に取り組み、観光関連産業の賃金上昇に向けた稼ぐ力の向上を支援する。



<宿泊業界の合同就職説明会>

(3) 量から質への更なる転換

西のゴールデンルートによる欧米豪旅行者の更なる誘客を推進する。また、きめ細やかな対応ができるガイドの育成や体験型旅行商品の造成に加え、旅程全体を手配できる旅行会社の設立支援を推進し、高付加価値旅行者の更なる誘客に取り組み、量から質への更なる転換を進める。



新たなJAPANを開拓せよ。

<西のゴールデンルート>

(4) 質の高いMICE誘致及び地域への波及効果の拡大

質の高い国際会議の誘致に向け、会議主催者となる大学教員への情報発信や誘致から開催までの伴走支援など、大学との連携を強化する。

また、文化財などを活用したユニークベニューの開拓のほか、ビジネスや市民参加の機会創出等により、質の高いMICEの誘致及び地域への波及効果の拡大を図る。



<世界観光ガイド連盟総会>

(5) 地域資源の磨き上げによる昼間の観光の充実

食文化やエンターテインメントなどの夜間の観光の充実に引き続き取り組むほか、自然や歴史、伝統文化などの地域資源をさらに磨き上げ、ストーリー性のある市内周遊ルートの構築や体験機会の創出によるまち歩きの魅力向上などにより、昼間の観光の充実を図る。



<鴻臚館東門の復元>

4 今後のスケジュール

観光・MICE推進プログラムの改定に向け、観光・MICEの専門家で構成する有識者会議で意見をいただきながら検討を進めていくとともに、議会には適宜報告していく。

令和7年7月	令和7年9月	令和7年10～11月	令和7年12月	令和8年1～2月	令和8年3月
有識者会議 (開催済※) 取組みの成果等 に対する意見聴取	今後の大枠の 方向性を報告	有識者会議 方向性や目標値 に対する意見聴取	プログラムの 原案を報告	有識者会議 今後の取組みに 対する意見聴取	プログラムの策定 計画期間 令和8～10年度

※ 7月開催の有識者会議の議事概要は参考資料2を参照